

3.1.2 長命寺川(蛇砂川)

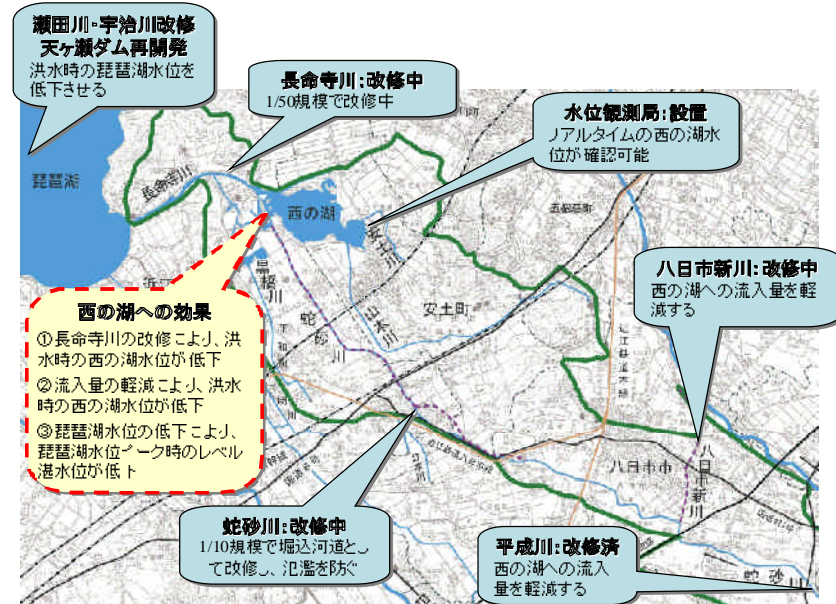
○長命寺川・西の湖

長命寺川の河川改修では、引き続き築堤や護岸および河道掘削を行っていくほか、近江八幡市中中之庄地区や島地区等で沿川の低地の内水排除を進めています。

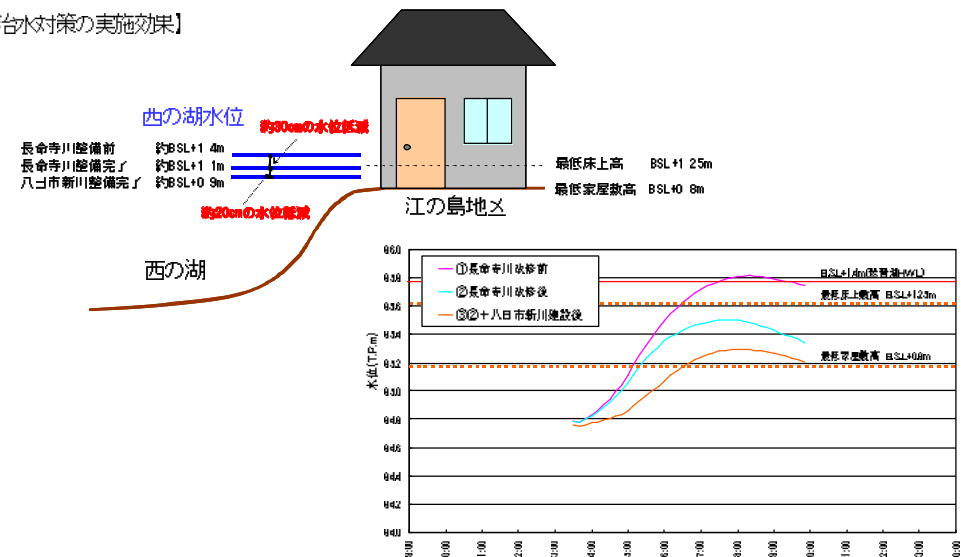
西の湖の治水については、湖中堤の整備や西の湖周辺の干拓堤防の高上げは行わずに、下流の長命寺川、上流の八日市新川の整備を進めることによって、整備計画期間中の目標である10年に1回程度の降雨により予想される洪水に対する治水安全度を確保することとし、西の湖の自然豊かな景観の保全に努めます。

また、西の湖は琵琶湖の背水区間であり、琵琶湖の水位による影響が大きいことから、洪水時の琵琶湖水位の早期低下にむけ引き続き国土交通省と緊密な連携を図ります。

【琵琶湖下流及び西の湖上流の治水対策】



【治水対策の実施効果】



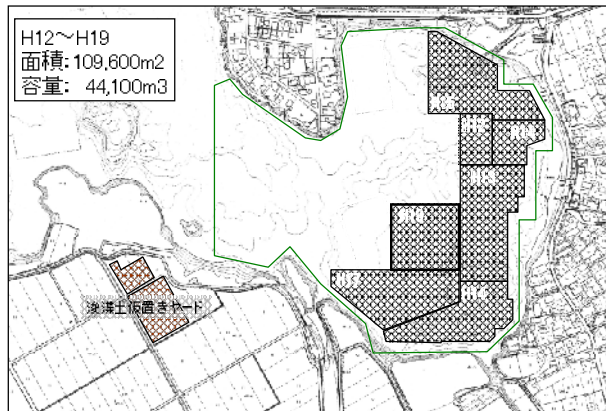
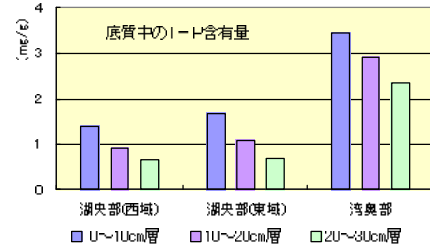
西の湖の湾奥部は、安土川、小中の湖幹線排水路が流入することに加え、半島的な地形であることから半閉鎖的な水域となり、有機物が沈殿しやすくなっているため、底質に含まれるTPが高くなっています。このため、西の湖の水質浄化の取り組みとしては、関連部局との連携を一層強化しながら、西の湖ならびに流入河川の水環境の状況を把握し、現在実施している底泥浚渫を継続していきます。

【西の湖の浚渫】

西の湖の湾奥部では、安土川、小中の湖幹線排水路が流入することに加え、江の島が半島的な地形のために湾奥部が半閉鎖的な水域となり有機物等が沈殿しやすくなっているため、底質に含まれるTPが高くなっています。県では西の湖湾奥部の浚渫を行い、西の湖の水環境の改善に努めている。



西の湖の底泥分布



浚渫の実施状況

【西の湖植生状況】



【ヨシ群落】

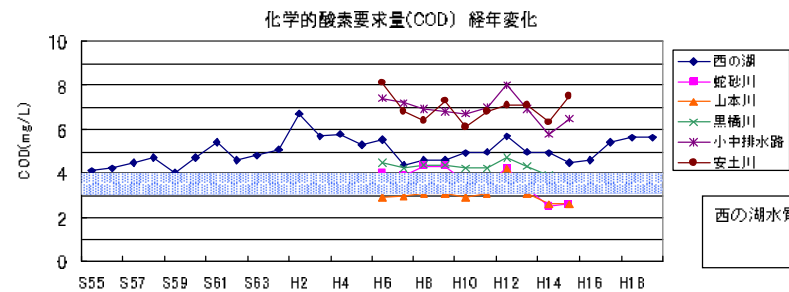


【カイツブリ】



出典: 滋賀県ホームページ

【西の湖および流入河川の水質経年変化】



○蛇砂川

蛇砂川の河川改修では、近江八幡市西生来町地先から東近江市市辺町地先にかけて現況河道の拡幅、切り下げを行い、河道の屈曲が著しい区間では洪水がスムーズに流れるように河道線形の是止を行っていきます。

整備にあたっては、河道の法面や水際の構築を考慮し、自然植生による良好な河川環境の創出を図ります。

蛇砂川は、もともと農業用水路として改良と維持がなされてきた河川で、流域内に水源となる森林がほとんどなく、常時の水量が少ない河川です。しかしながら、身近な親水空間として蛇砂川への住民のニーズは高く、今後は、よりよい流域環境の創出のため、平地での地下水涵養や水源涵養等について住民とともに検討を行っていきます。また、蛇砂川の水質は、かんがい期においてBODが2mg/l以下にあり、平野部を流れる河川としては良好です。しかしながら蛇砂川が合流する西の湖の水質悪化が懸念されていることから、蛇砂川では常時水量が少ない中でも「使った水はきれいにしてから川へ返そう」等の取り組みを地域住民との協働により進めていきます。

○八日市新川

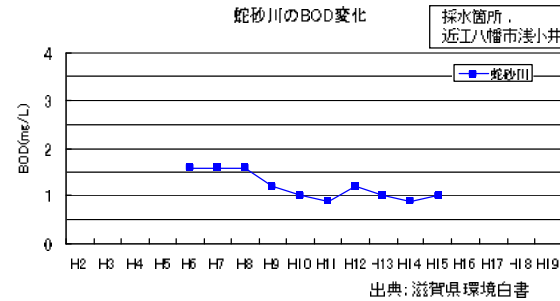
八日市新川の河川改修では、東近江市尻無町付近で蛇砂川からの洪水を分流し愛知川へ放流する新しい河川を作り、蛇砂川下流の治水安全度の向上を図ります。

八日市新川は、東近江市街地を通り新たに開削する河川であることから、後世に残せる川、自然豊かな川となるように流域住民の意見を尊重しながら整備を行っていきます。市街地付近では、河川へのアプローチが容易に行えるような施設整備や植樹などを行い、子供達の環境学習や地域住民が集い、心癒し場として地域の方々が親しめる河川整備を考えていきます。

長命寺川(蛇砂川)では、流域住民が長命寺川・西の湖、蛇砂川、八日市新川について「治水、水質、親水施設、水源涵養、ゴミ・維持管理、防災、川づくり」等のテーマに関して考える住民参加会議「長命寺川(蛇砂川)川づくり会議」が開催されました。会議では活発な意見交換が行われ、「長命寺川・西の湖、蛇砂川、八日市新川の川づくりの提言」として流域住民の長命寺川、西の湖、蛇砂川、八日市新川への想いがまとめられました。長命寺川(蛇砂川)の河川整備では、この提言を踏まえた整備を進めていきます。

西の湖については、「西の湖川づくり会議」が平成20年度に開催され、今後の整備について話し合われました。会議では、西の湖の治水や自然環境についての活発な意見交換が行われ、治水安全度を確保することや、景観や自然環境を守ってほしいとの意見を多数いただきました。今後は、これらの意見を踏まえ、西の湖の上下流の河川整備を進めることによって、自然環境に配慮しつつ、治水安全度を確保することとします。

【蛇砂川の水質経年変化】



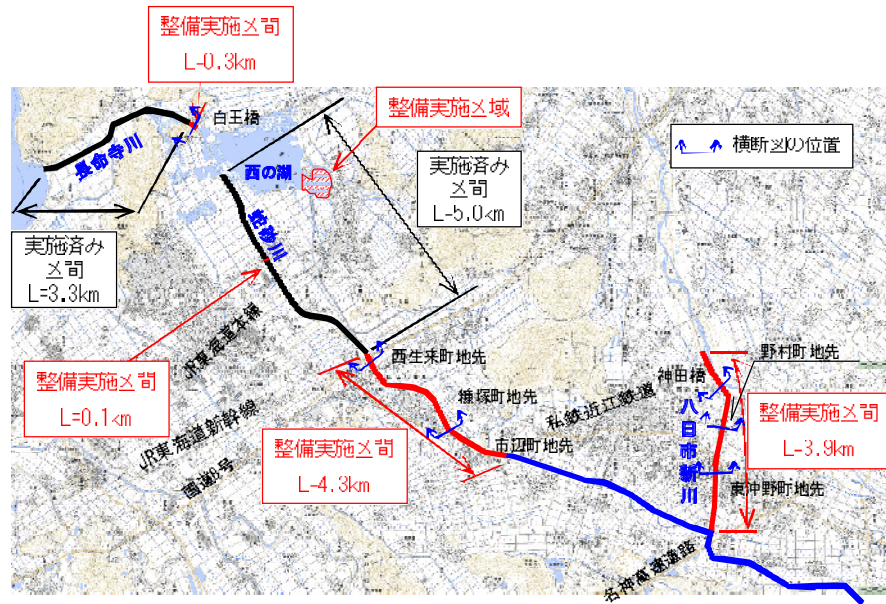
河川環境基準(BOD)
AA類型:1mg/l以下
A類型:2mg/l以下
出典:水質年鑑(1999年)

【蛇砂川の不法投棄写真】



【八日市新川計画平面図】

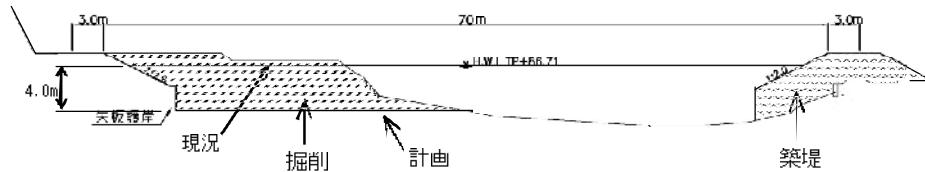




長命寺川(蛇砂川) - 八日市森川川断面図

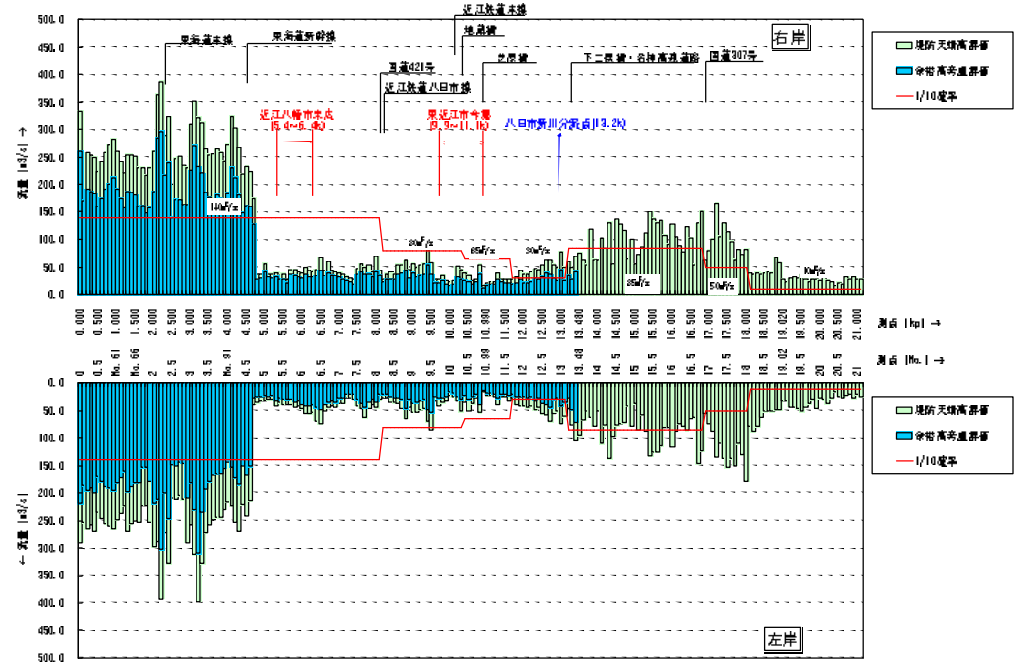
【長命寺川】

白玉橋上流(河二から約3.4km)



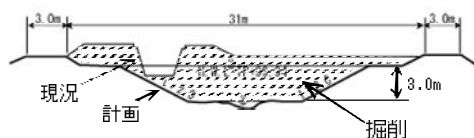
横断面図

【蛇砂川】現況流下能力図

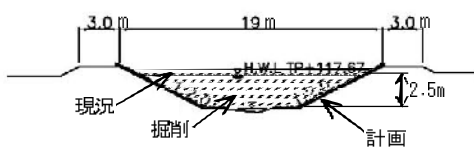


【蛇砂川】

丙牛来町地先 (河口から約5.2km)

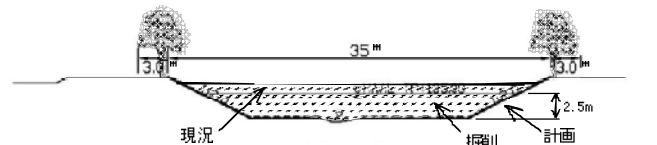


糠塚町地先 (河口から約8.0km)

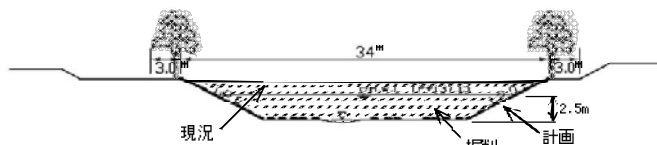


【八日市新川】

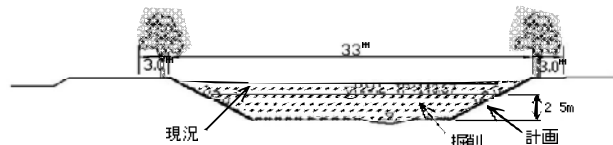
神田橋 (河口から約0.9km)



野村町地先 (河口から約1.6km)



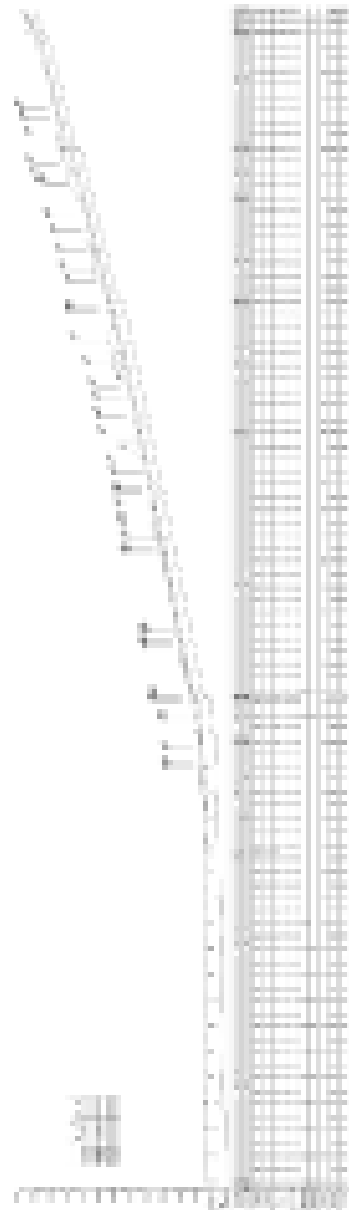
東沖野地先 (河口から約2.8km)



横断面図

(注) 護岸の形式・形状は変更することがあります。

【長命寺川(蛇砂川)縦断面図】



【八日市新川縦断面図】



3.1.3 日野川

日野川の河川改修では、現況の河道特性を重視し、低水路形状を極力尊重しながらの河積の拡大(引き堤、河道掘削等)、および古川橋、桐原橋の架け替え等を行います。その際、堤防を守るために必要となる箇所では、護岸及び根固めを設置します。これらの対策により、氾濫などによる浸水被害を未然に防ぎ、安全で快適な水辺の暮らしを実現します。

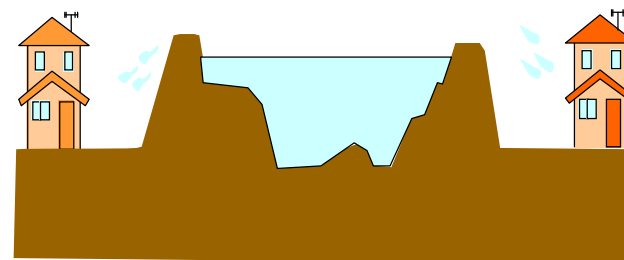
今後の河川整備では自然と人間との共生が図られるよう、植生が復元しやすい護岸の整備を進めるなど、自然環境への影響を極力小さくします。整備にあたっては、上流の連続性を確保し、個々の動植物の生息・生育環境をネットワーク化することにより、日野川固有の生態系の維持に努めます。また、工事中の騒音・振動・濁水・粉塵等を最小限に抑えるよう努めます。

なお、既に一定の改修が完了した区間、当面整備を行わない区間についても、経過を観察しつつ、必要に応じた対策の検討を行い、多様な水際や上流の連続性が確保される河道となるように努めます。

日野川では県内において最初に、流域住民が「防災、自然環境、ふれあい、利用、流域」という6つの視点から川の将来像について考える住民参加会議「日野川みらい会議」が開催されました。会議では活発な意見交換が行われ、「日野川将来像の提言」として流域住民の日野川への思いがまとめられました。日野川改修では、階段の設置等による親水性の向上、高水敷の空間利用など、その提言内容を踏まえた整備を進めるとともに、仁保の桜など古くからの川にかかわる地域文化が継承されるよう積極的な支援を行います。

現況の問題点

- ・川底が高いため、洪水の時には高い水位になる
- ・堤防が古いため、水漏れしやすく、破堤を招きやすい
- ・洪水時、日野川の水位が高くなることから、小支川からの排水が困難となる
- ・川幅が狭く、川底が高いため、河積が不足している

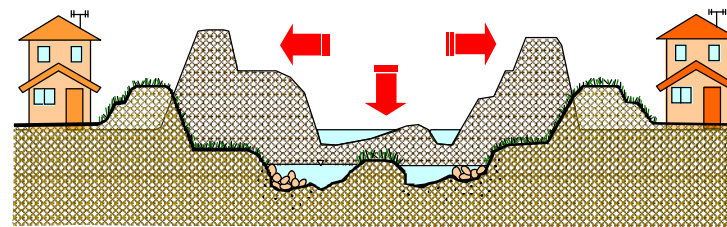


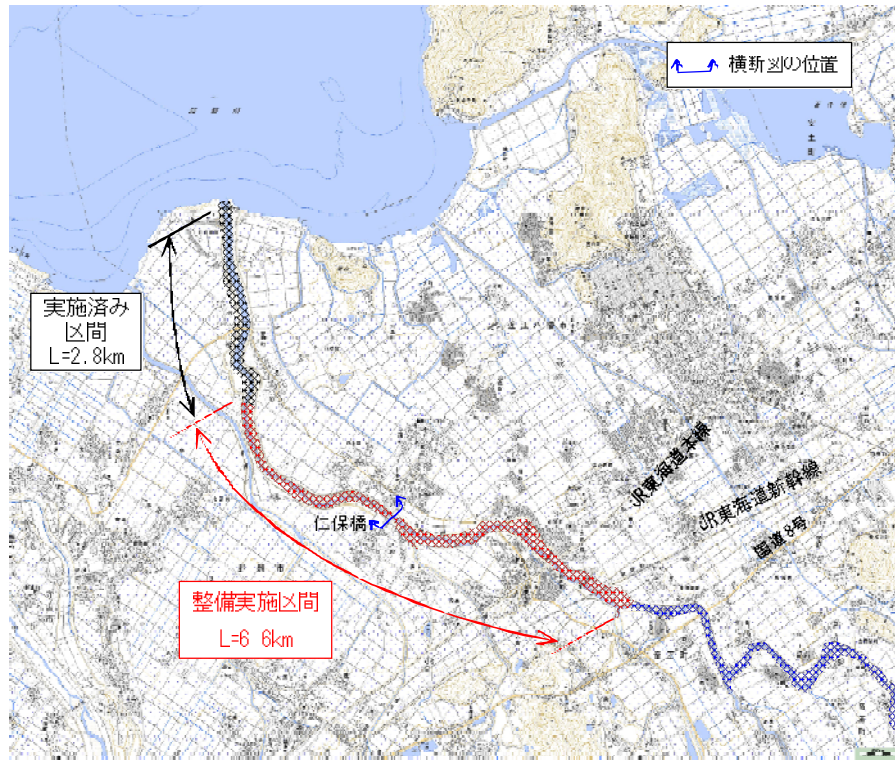
川を広げ、洪水時の水の高さを低くすることが効果的



整備の方針

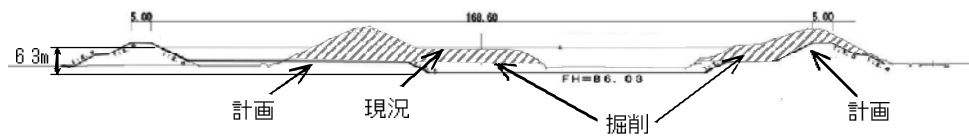
- 河道が拡大されます
- 河床が下がり、天井川が解消されます
- 内水及び漏水が解消されます
- 地域に適合した河川環境に配慮します
- 生物の生育環境や生態系に配慮します





日野川平面図

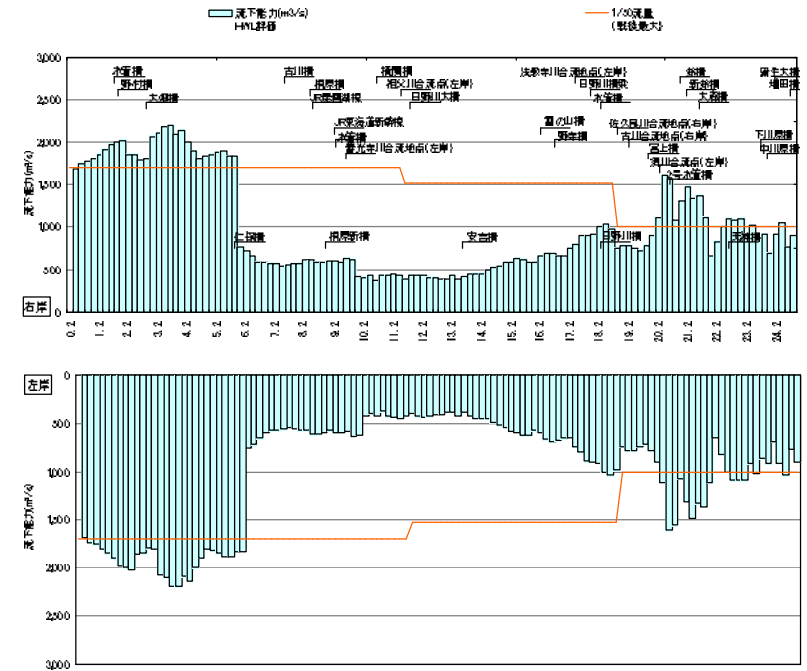
仁保橋下流(河口から約5.2km)



横断面図

(注) 護岸の形式・形状は変更することがあります。

【流下能力図】



【縦断面図】

